

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 原信ナルスホールディングス株式会社
 コード番号 8255 URL <http://www.hnhd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役執行役員
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 原 和彦
 (氏名) 山岸 豊後

TEL 0258-66-6711

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	31,109	3.3	942	△5.4	1,014	5.1	566	10.4
24年3月期第1四半期	30,128	2.3	996	3.6	964	0.4	513	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 659百万円 (22.4%) 24年3月期第1四半期 538百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	32.33	—
24年3月期第1四半期	29.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	54,978	24,863	45.2	1,418.31
24年3月期	55,126	24,554	44.5	1,400.69

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 24,863百万円 24年3月期 24,554百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	10.00	—	20.00	30.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	10.00	—	24.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	64,000	1.0	1,950	△6.1	1,950	△4.8	1,100	0.4	62.75
通期	128,000	1.0	4,000	△3.2	4,000	△5.8	2,000	13.8	114.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

詳細につきましては、四半期決算短信【添付資料】5ページ「2 サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	18,014,239 株	24年3月期	18,014,239 株
25年3月期1Q	484,033 株	24年3月期	484,017 株
25年3月期1Q	17,530,214 株	24年3月期1Q	17,600,946 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

この四半期決算短信に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】4ページ「1 当四半期決算短信に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【添付資料】

目次

	頁
1 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2 サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(四半期連結損益計算書)	8
(四半期連結包括利益計算書)	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する事項	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(7) 重要な後発事象	12
4 補足情報	13
(1) 生産、受注及び販売の状況	13

1 当四半期決算に関する定性的情報

文中における将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び当社の連結子会社）が判断したものであります。

なお、将来に関する事項につきましては、不確実性を有しており、将来生じる結果と異なる可能性がありますので、記載しております事項に対する判断は、以下記載事項及び本項目以外の記載内容も合わせて慎重に行われる必要があります。

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部で回復の兆しがうかがえるものの、国内外を問わず様々な問題が山積し、先行きに対する懸念が依然として払拭されず、横ばいの状態が続きました。

このような状況において、当第1四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高が311億9百万円（前年同期比3.3%増）、営業利益が9億42百万円（前年同期比5.4%減）、経常利益が10億14百万円（前年同期比5.1%増）、四半期純利益が5億66百万円（前年同期比10.4%増）となり、1株当たり四半期純利益は32円33銭となりました。

売上高、営業利益につきましては、以下に記載いたしますセグメント区分ごとの要因により変動しております。

経常利益につきましては、固定資産受贈益の計上や支払利息の減少により増加しております。

四半期純利益につきましては、経常利益の増加に伴い増加しております。

セグメント区分ごとの業績を示すと、次のとおりであります。なお、各セグメントの業績値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

① スーパーマーケット

(全般)

前年同期における東日本大震災後の混乱した市況から一転、当第1四半期連結累計期間の市況は概ね落ち着いた状況となりました。

当社グループでは、前年同期における需要の変化や一部商品の調達不足といった背景を詳細に検証しながら当第1四半期累計期間の販売計画を策定・実行した結果、概ね計画どおりの業績を確保することができました。

(商品政策)

冬季の豪雪により、雪解けが遅れ青果物の生育が遅れたことや、海水温が低下し水産物の不漁が続いたことで、生鮮品の相場は高めに推移いたしました。

また、お客様の購買動向は依然として、高揚には至らない状況が続きました。

こうした状況に対し、当社グループの購買規模を活かし、お客様にとって価格以上の価値をもった商品を選定して集中販売する「チャレンジ商品101」の取り組みや、当社グループ内の食品製造機能を活かし品質を兼ね備えた独自の低価格商品「パワーアイテム」の拡販、新潟県の風土を生かし産地と連携してブランド化した一連商品の販売、東日本大震災以降産地の被災で取扱いが滞っていたプライベート商品の取扱い再開で、成果を挙げました。

(販売政策)

近年取り組んでいる販売計画の立案から結果の振り返りまでを体系化した週間管理の仕組みが、日々の店舗作業管理の仕組みと連動して、一層定着いたしました。

これにより、前年同期とは大きく異なる時勢や競合状況の変化にあっても、先を見据えた計画の立案や売場への具現化を実現し、販売実績の向上や生産性の改善を継続しております。

また、低価格の打ち出しのみならず、1ランク上の商品や目立ちにくい商品であっても、商品をお客様にわかりやすく提案することで、商品の良さを知っていただき、需要の掘り起こしにつながっております。

このようなことから、日々の販売実績のみならず、春の行楽や、大型連休などの季節的需要についても、概ね計画どおりの販売実績を収めることができ、既存店売上高は前年同期比0.4%増加し、全店売上高も前年同期比3.3%増加いたしました。

一方、店舗段階の売上総利益率につきましては、販売促進活動を強化したことなどにより、前年同期に比べ0.4ポイント低下し、24.1%となりました。

(コスト・コントロール)

作業計画と連動した労働時間管理や、ISO14001の環境マネジメントと連動した環境コストの削減を進めるほか、様々な形で経営資源の適正利用、使用量の削減の取り組みを継続しております。

この結果、販売費及び一般管理費は、連結全体で前年同期に比べ1億17百万円増加いたしました。売上高に対する比率は23.1%となり、前年同期に比べ0.4ポイント改善いたしました。

金額の増加につきましては、店舗数の増加に伴う諸経費の増加や電気料金の値上げに伴う水道光熱費の増加に加え、当第1四半期連結累計期間の新規出店店舗に係る採用人員の事前教育費用の発生によるものであります。

(出店・退店等)

出店につきましては、原信黒埼店（6月・新潟県新潟市・売場面積2,086㎡）を新設いたしました。

退店、改装につきましては、該当事項はありません。

(業績)

当第1四半期連結累計期間の営業状況を示すと以下のとおりであります。

項目		当第1四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	前年同期比
店舗数		68店舗	2店舗増
店舗売上高	全店	29,518百万円	103.3%
	既存店	28,068百万円	100.4%
来店客数	全店	1,665万人	102.2%
	既存店	1,578万人	99.2%
買上点数	全店	10.80点	100.3%
客単価	全店	1,772円	101.1%

- (注) 1 店舗売上高及び客単価には、消費税等は含まれておりません。
 2 店舗数は、当第1四半期連結会計期間末現在の設置店舗数であります。
 3 既存店は、店舗開設より満13ヶ月以上を経過した店舗であります。
 4 買い上げ点数は、お客様一人当たりが一回のご来店でお買い上げになる商品数の平均であります。
 5 客単価は、お客様が一回のお買い物でお買い上げになった金額の平均であります。
 6 前年同期比は、年間各月の比率の平均値であります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におけるスーパーマーケット事業の売上高は309億94百万円（前年同期比3.3%増）、営業利益は8億87百万円（前年同期比8.4%減）となりました。

② その他

(清掃事業)

外部顧客向けの販売及びスーパーマーケット事業向けの販売は、いずれも堅調に推移し、前年同期に比べ売上高が5.2%、営業利益が9.9%それぞれ増加いたしました。

(情報処理事業)

外部顧客向けの販売は、予定していたシステム開発の納期が当第1四半期連結累計期間以降にずれ込んだため減少いたしました。スーパーマーケット事業向けの販売が堅調に推移し、前年同期に比べ売上高が9.2%、営業利益が145.5%それぞれ増加いたしました。

(印刷事業)

外部顧客向けの販売及びスーパーマーケット事業向けの販売は、いずれも堅調に推移し、前年同期に比べ売上高が12.1%、営業利益が1.5%それぞれ増加いたしました。

(業績)

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におけるその他の事業の売上高は8億57百万円（前年同期比8.5%増）、営業利益は55百万円（前年同期比17.5%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 財政状態の変動状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1億47百万円減少し549億78百万円となりました。また、総負債は前連結会計年度末に比べ4億56百万円減少し301億15百万円、純資産は前連結会計年度末に比べ3億8百万円増加し248億63百万円となり、1株当たり純資産は1,418円31銭となりました。

各項目別の内容を示すと、次のとおりであります。

(総資産)

流動資産は145億43百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億11百万円減少いたしました。これは主に、納税等の関係で、現金及び預金が前連結会計年度末に比べ5億94百万円減少したことによるものであります。この結果、流動資産の構成比は前連結会計年度末に比べ1.4ポイント減少し26.5%となりました。

固定資産は404億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億63百万円増加いたしました。その内容は次のとおりであり、この結果、固定資産の構成比は前連結会計年度末に比べ1.4ポイント増加し73.5%となりました。

有形固定資産は、295億53百万円となり前連結会計年度末に比べ3億82百万円増加いたしました。これは主に、当第1四半期連結累計期間における新規出店1店舗への投資と当連結会計年度中に新規出店予定の店舗に係る設備投資によるものであります。

無形固定資産は、15億9百万円となり前連結会計年度末に比べ28百万円減少いたしました。これは主に、リース資産とのれんの償却によるものであります。

投資その他の資産は、93億72百万円となり前連結会計年度末に比べ3億9百万円増加いたしました。これは主に、新規出店に係る敷金及び保証金の増加によるものであります。

(総負債)

流動負債は188億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億53百万円減少いたしました。これは主に、納税により未払法人税等が前連結会計年度末に比べ4億14百万円減少したことと、短期有利子負債が前連結会計年度末に比べ2億34百万円減少したことによるものであります。なお、流動負債の構成比は前連結会計年度末に比べ0.3ポイント減少し34.3%となりました。

固定負債は112億83百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億3百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金が前連結会計年度末に比べ3億71百万円減少したことによるものであります。この結果、固定負債の構成比は前連結会計年度末に比べ0.4ポイント減少し20.5%となりました。

(純資産)

株主資本は244億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億16百万円増加いたしました。これは主に、四半期純利益5億66百万円の計上によるものであります。

その他の包括利益累計額は4億28百万円となり、前連結会計年度末に比べ92百万円増加いたしました。これは、投資有価証券の時価変動により、その他有価証券評価差額金が前連結会計年度末に比べ92百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.7ポイント増加し45.2%となり、1株当たり純資産は前連結会計年度末に比べ17円62銭増加し、1,418円31銭となりました。

② 連結キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ5億94百万円減少し、61億18百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況を示すと、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は12億91百万円となり、前年同期に比べ16百万円減少（前年同期比1.3%減）いたしました。

これは主に、四半期期末日が金融機関の休日にあたったことにより営業債権債務の決済が前年同期と異なったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は8億58百万円となり、前年同期に比べ2億66百万円増加（前年同期比45.0%増）いたしました。

これは主に、当第1四半期連結累計期間における新規出店1店舗と当連結会計年度中の出店予定の店舗に係る設備投資により、有形固定資産の取得による支出が前年同期に比べ31百万円増加（前年同期比4.6%増）したこと及び敷金及び保証金の純増減額が前年同期は1億1百万円の減少、当第1四半期連結累計期間は2億65百万円の増加となったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は10億27百万円となり、前年同期に比べ3億96百万円減少（前年同期比27.8%減）いたしました。

これは主に、新規運転資金の調達を行い、短期借入金の純増加額が2億円、長期借入れによる収入が3億円となったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績は概ね当初想定した状況で推移しており、連結業績予想の修正はありません。

2 サマリー情報（注記事項）に関する情報

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当四半期連結累計期間において、連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表規則に規定する「四半期連結財務諸表作成に特有の会計処理」の適用はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ2百万円増加しております。

3 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,715	6,120
受取手形及び売掛金	585	532
リース投資資産	2,044	2,050
商品及び製品	2,680	2,784
仕掛品	18	43
原材料及び貯蔵品	140	126
未収還付法人税等	150	184
繰延税金資産	687	770
その他	2,349	1,947
貸倒引当金	△17	△17
流動資産合計	15,355	14,543
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,899	11,774
機械装置及び運搬具(純額)	591	555
土地	13,538	13,729
リース資産(純額)	1,541	1,748
建設仮勘定	428	508
その他(純額)	1,169	1,236
有形固定資産合計	29,170	29,553
無形固定資産		
のれん	47	21
リース資産	132	105
その他	1,356	1,382
無形固定資産合計	1,537	1,509
投資その他の資産		
投資有価証券	1,530	1,663
長期貸付金	38	34
繰延税金資産	1,554	1,436
敷金及び保証金	4,943	5,227
その他	1,002	1,016
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	9,063	9,372
固定資産合計	39,771	40,434
資産合計	55,126	54,978

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,100	9,399
短期借入金	200	400
1年内返済予定の長期借入金	3,692	3,291
リース債務	490	456
未払法人税等	912	498
ポイント引当金	6	6
役員賞与引当金	96	26
賞与引当金	967	1,457
その他	3,619	3,296
流動負債合計	19,085	18,831
固定負債		
社債	1,000	1,000
長期借入金	2,759	2,388
リース債務	2,093	2,291
資産除去債務	2,490	2,508
長期預り保証金	2,854	2,807
その他	288	288
固定負債合計	11,486	11,283
負債合計	30,571	30,115
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,159	3,159
資本剰余金	6,405	6,405
利益剰余金	15,238	15,454
自己株式	△585	△585
株主資本合計	24,218	24,434
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	336	428
その他の包括利益累計額合計	336	428
純資産合計	24,554	24,863
負債純資産合計	55,126	54,978

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	30,128	31,109
売上原価	22,062	22,979
売上総利益	8,066	8,129
販売費及び一般管理費		
ポイント引当金繰入額	6	6
従業員給料	1,212	1,224
雑給	2,009	2,080
役員賞与引当金繰入額	24	26
賞与引当金繰入額	442	458
賃借料	20	17
地代家賃	632	645
減価償却費	553	449
のれん償却額	26	26
貸倒引当金繰入額	2	0
その他	2,136	2,250
販売費及び一般管理費合計	7,070	7,187
営業利益	996	942
営業外収益		
受取利息	13	18
受取配当金	15	16
固定資産受贈益	—	21
その他	10	45
営業外収益合計	39	102
営業外費用		
支払利息	38	27
寄付金	15	—
遺跡調査費	14	0
その他	2	2
営業外費用合計	70	30
経常利益	964	1,014
特別利益		
固定資産売却益	—	30
特別利益合計	—	30
特別損失		
固定資産除却損	16	—
投資有価証券評価損	11	10
特別損失合計	28	10
税金等調整前四半期純利益	936	1,034
法人税、住民税及び事業税	538	484
法人税等調整額	△115	△16
法人税等合計	422	467
少数株主損益調整前四半期純利益	513	566
四半期純利益	513	566

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	513	566
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25	92
その他の包括利益合計	25	92
四半期包括利益	538	659
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	538	659
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	936	1,034
減価償却費	580	511
のれん償却額	26	26
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2	0
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△0	△0
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△55	△69
賞与引当金の増減額 (△は減少)	473	489
受取利息及び受取配当金	△28	△34
支払利息	38	27
投資有価証券評価損益 (△は益)	11	10
固定資産売却損益 (△は益)	—	△30
固定資産除却損	16	—
売上債権の増減額 (△は増加)	74	53
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△270	△115
仕入債務の増減額 (△は減少)	264	298
未払又は未収消費税等の増減額	△16	114
リース投資資産の増減額 (△は増加)	43	14
その他	427	△126
小計	2,524	2,204
利息及び配当金の受取額	15	16
利息の支払額	△34	△24
法人税等の支払額	△1,196	△905
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,308	1,291
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△0	△0
有形固定資産の取得による支出	△681	△712
有形固定資産の売却による収入	—	152
無形固定資産の取得による支出	△10	△38
貸付けによる支出	△7	△0
貸付金の回収による収入	5	6
その他	101	△264
投資活動によるキャッシュ・フロー	△592	△858
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	200
長期借入れによる収入	—	300
長期借入金の返済による支出	△1,054	△1,072
リース債務の返済による支出	△173	△130
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△196	△325
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,424	△1,027
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△707	△594
現金及び現金同等物の期首残高	6,227	6,713
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	88	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,608	6,118

(4) 継続企業の前提に関する事項

当第1四半期連結会計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

	報告セグメント		その他 (百万円)	合計 (百万円)
	スーパー マーケット (百万円)	計 (百万円)		
売上高				
外部顧客に対する売上高	29,991	29,991	137	30,128
セグメント間の内部売上高又は振替高	14	14	653	667
合計	30,005	30,005	790	30,795
セグメント利益	969	969	47	1,016

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報処理事業、清掃事業、印刷事業等を含んでおります。

当第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

	報告セグメント		その他 (百万円)	合計 (百万円)
	スーパー マーケット (百万円)	計 (百万円)		
売上高				
外部顧客に対する売上高	30,975	30,975	134	31,109
セグメント間の内部売上高又は振替高	19	19	723	742
合計	30,994	30,994	857	31,852
セグメント利益	887	887	55	943

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報処理事業、清掃事業、印刷事業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

利益	前第1四半期累計期間	当第1四半期累計期間
報告セグメント合計	969百万円	887百万円
「その他」の区分の利益	47百万円	55百万円
セグメント間取引消去	7百万円	△1百万円
全社費用	△318百万円	△322百万円
その他の調整額	290百万円	323百万円
四半期連結損益計算書の営業利益	996百万円	942百万円

(注) 1 セグメント間取引消去は、主にセグメント間の固定資産売買によって生じた未実現利益に係る調整であります。

2 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社（持株会社である当社）に係るものであります。

3 その他調整額は、主に報告セグメントに帰属しない全社（持株会社である当社）に対する経営指導料支払額の消去であります。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

この変更により、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の「スーパーマーケット」のセグメント利益が2百万円増加し、「その他」のセグメント利益が0百万円増加しております。

4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

当第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

該当事項はありません。

4 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 販売実績

(単位 百万円、%)

項目		前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)		前年同期比		
		売上高	構成比	売上高	構成比	金額	比率	
スーパーマーケット	生鮮食品	青果	3,966	12.9	4,181	13.1	215	105.4
		精肉	3,402	11.0	3,369	10.6	△32	99.0
		水産	2,659	8.6	2,730	8.6	70	102.7
		惣菜	2,725	8.9	2,828	8.9	102	103.8
		計	12,754	41.4	13,109	41.2	355	102.8
	一般食品	デイリー	5,631	18.3	5,927	18.6	295	105.3
		加工食品	8,370	27.2	8,709	27.3	338	104.0
		インスタアペーカリー	471	1.5	462	1.5	△9	98.1
		計	14,473	47.0	15,098	47.4	624	104.3
	住居	1,289	4.2	1,255	3.9	△34	97.4	
衣料品	55	0.2	48	0.1	△7	86.9		
その他	73	0.2	64	0.2	△9	87.5		
営業収入	1,343	4.4	1,398	4.4	54	104.1		
セグメント間の内部売上高又は振替高	14	0.0	19	0.1	5	135.8		
	小計	30,005	97.4	30,994	97.3	989	103.3	
その他	外部顧客に対する売上高	137	0.5	134	0.4	△2	97.8	
	セグメント間の内部売上高又は振替高	653	2.1	723	2.3	69	110.7	
	小計	790	2.6	857	2.7	67	108.5	
	合計	30,795	100.0	31,852	100.0	1,056	103.4	

② 仕入実績

(単位 百万円、%)

項目		前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)		前年同期比		
		仕入高	構成比	仕入高	構成比	金額	比率	
スーパーマーケット	生鮮食品	青果	3,083	13.8	3,256	14.0	172	105.6
		精肉	2,565	11.4	2,532	10.9	△32	98.7
		水産	2,048	9.1	2,052	8.9	3	100.2
		惣菜	1,608	7.2	1,691	7.3	83	105.2
		計	9,305	41.5	9,532	41.1	226	102.4
	一般食品	デイリー	4,193	18.7	4,487	19.4	294	107.0
		加工食品	6,911	30.8	7,132	30.7	221	103.2
		インスタアペーカリー	215	1.0	214	0.9	△0	99.8
		計	11,319	50.5	11,834	51.0	514	104.5
	住居	1,039	4.7	1,049	4.5	9	100.9	
衣料品	36	0.2	37	0.2	1	103.0		
その他	137	0.6	56	0.2	△81	40.8		
リース原価	43	0.2	55	0.2	12	129.1		
セグメント間の内部仕入高又は振替高	49	0.2	47	0.2	△2	95.5		
	小計	21,932	97.9	22,613	97.4	681	103.1	
その他	外部取引先からの仕入高	451	2.0	517	2.2	65	114.5	
	セグメント間の内部仕入高又は振替高	27	0.1	84	0.4	56	302.6	
	小計	479	2.1	601	2.6	122	125.5	
	合計	22,411	100.0	23,214	100.0	803	103.6	

(注) セグメント間の内部取引高を含めて表示しており、消費税等は含まれておりません。